

滋賀県がん診療連携協議会 議事結果報告書

会 議 名	令和6年度 滋賀県がん診療連携協議会 第34回 地域連携部会																																											
開 催 日 時	令和6年6月12日(水) 16:30~16:55																																											
開 催 場 所	大津赤十字病院外来棟 6階会議室、オンライン (Zoom) のハイブリッド形式																																											
出 席 者	<p>【部会員】</p> <table border="0"> <tr> <td>大津赤十字病院</td> <td>辻 将公 (部会長)</td> </tr> <tr> <td>滋賀医科大学医学部附属病院</td> <td>村田 聡 (副部会長)</td> </tr> <tr> <td>滋賀県立総合病院</td> <td>吉田 徹 (副部会長)</td> </tr> <tr> <td>滋賀医科大学医学部附属病院</td> <td>河田 優子</td> </tr> <tr> <td>大津赤十字病院</td> <td>森田 美砂</td> </tr> <tr> <td>滋賀県立総合病院</td> <td>奥村 しづ子</td> </tr> <tr> <td>彦根市立病院</td> <td>崎久保 守人</td> </tr> <tr> <td>市立長浜病院</td> <td>上田 修吾</td> </tr> <tr> <td>高島市民病院</td> <td>渡邊 武志</td> </tr> <tr> <td>淡海医療センター</td> <td>戸川 剛 (代理:吉村)</td> </tr> <tr> <td>長浜赤十字病院</td> <td>原田 吉将</td> </tr> <tr> <td>東近江総合医療センター</td> <td>赤堀 浩也</td> </tr> <tr> <td>滋賀県医師会</td> <td>高橋 健太郎</td> </tr> <tr> <td>滋賀県歯科医師会</td> <td>吉田 智一</td> </tr> <tr> <td>滋賀県薬剤師会</td> <td>池田 富美子</td> </tr> <tr> <td>滋賀県看護協会</td> <td>黒橋 真奈美</td> </tr> <tr> <td>滋賀県歯科衛生士会</td> <td>新 康子</td> </tr> <tr> <td>滋賀県がん患者団体連絡協議会</td> <td>菊井 津多子</td> </tr> <tr> <td>滋賀県健康医療福祉部</td> <td>田村 奈那子</td> </tr> <tr> <td>滋賀県立総合病院</td> <td>田井 佑樹</td> </tr> </table> <p>【事務局】</p> <table border="0"> <tr> <td>大津赤十字病院</td> <td>仲川 直行</td> </tr> </table>		大津赤十字病院	辻 将公 (部会長)	滋賀医科大学医学部附属病院	村田 聡 (副部会長)	滋賀県立総合病院	吉田 徹 (副部会長)	滋賀医科大学医学部附属病院	河田 優子	大津赤十字病院	森田 美砂	滋賀県立総合病院	奥村 しづ子	彦根市立病院	崎久保 守人	市立長浜病院	上田 修吾	高島市民病院	渡邊 武志	淡海医療センター	戸川 剛 (代理:吉村)	長浜赤十字病院	原田 吉将	東近江総合医療センター	赤堀 浩也	滋賀県医師会	高橋 健太郎	滋賀県歯科医師会	吉田 智一	滋賀県薬剤師会	池田 富美子	滋賀県看護協会	黒橋 真奈美	滋賀県歯科衛生士会	新 康子	滋賀県がん患者団体連絡協議会	菊井 津多子	滋賀県健康医療福祉部	田村 奈那子	滋賀県立総合病院	田井 佑樹	大津赤十字病院	仲川 直行
大津赤十字病院	辻 将公 (部会長)																																											
滋賀医科大学医学部附属病院	村田 聡 (副部会長)																																											
滋賀県立総合病院	吉田 徹 (副部会長)																																											
滋賀医科大学医学部附属病院	河田 優子																																											
大津赤十字病院	森田 美砂																																											
滋賀県立総合病院	奥村 しづ子																																											
彦根市立病院	崎久保 守人																																											
市立長浜病院	上田 修吾																																											
高島市民病院	渡邊 武志																																											
淡海医療センター	戸川 剛 (代理:吉村)																																											
長浜赤十字病院	原田 吉将																																											
東近江総合医療センター	赤堀 浩也																																											
滋賀県医師会	高橋 健太郎																																											
滋賀県歯科医師会	吉田 智一																																											
滋賀県薬剤師会	池田 富美子																																											
滋賀県看護協会	黒橋 真奈美																																											
滋賀県歯科衛生士会	新 康子																																											
滋賀県がん患者団体連絡協議会	菊井 津多子																																											
滋賀県健康医療福祉部	田村 奈那子																																											
滋賀県立総合病院	田井 佑樹																																											
大津赤十字病院	仲川 直行																																											
欠 席 者	<table border="0"> <tr> <td>公立甲賀病院</td> <td>中右 雅之</td> </tr> <tr> <td>市立大津市民病院</td> <td>小池 忍</td> </tr> <tr> <td>済生会滋賀県病院</td> <td>増山 守</td> </tr> <tr> <td>近江八幡市立総合医療センター</td> <td>中野 且敬</td> </tr> <tr> <td>滋賀県医師会</td> <td>樋上 雅一</td> </tr> <tr> <td>滋賀県保健所長会</td> <td>小林 靖英</td> </tr> </table>		公立甲賀病院	中右 雅之	市立大津市民病院	小池 忍	済生会滋賀県病院	増山 守	近江八幡市立総合医療センター	中野 且敬	滋賀県医師会	樋上 雅一	滋賀県保健所長会	小林 靖英																														
公立甲賀病院	中右 雅之																																											
市立大津市民病院	小池 忍																																											
済生会滋賀県病院	増山 守																																											
近江八幡市立総合医療センター	中野 且敬																																											
滋賀県医師会	樋上 雅一																																											
滋賀県保健所長会	小林 靖英																																											
議 事 概 要	<p>1) 新部会員の紹介 (別紙添付)</p> <p>2) 滋賀県がん地域連携パス運用状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 滋賀県がん地域連携パス運用状況 登録件数について、【資料1-1】をご覧ください。 																																											

(敬称略)

2010年4月～2024年3月末のがんパス運用登録一覧表になっております。

現在までにバリエーションや5年経過し、パス運用が終了しているものも含まれるが、合計3,240件登録されております。

年度別にグラフ化したものが【資料1-2】になります。

2023年度は全体の登録件数は192件となり、2017年度より減少を続けておりました登録件数が、久しぶりに増加となっております。

がん種別詳細が【資料1-3】になります。

大腸がん（早期）が50件→37件と減少しておりますが、大腸がん（進行期）パスが51件→60件、乳がんパスが20件 → 26件、前立腺がんパスが6件 → 14件と増加しております。その他のパスはほぼ前年度と同じ件数となっております。ただ、肝臓がん・緩和ケアパスは運用されておられません。

施設別登録件数が【資料1-4】になります。

前年度と比較し、10件以上増加した施設は、大津赤十字病院でした。また、10件以上減少しているのは、淡海医療センターでした。ただ、滋賀県立総合病院・公立甲賀病院・市立大津市民病院・済生会滋賀県病院が登録件数が0件でした。

5年経過・パス中止件数が【資料1-5】になります。

5年経過したものは1132件、バリエーションとなりパス中止したものは、721件と全体の22.3%となっている。

その内件数の多い胃がん・大腸がんで、「早期」「進行期」に分けたのが【資料1-6】になります。

胃がん進行期パスの中止率43.0%と早期の約倍と非常に高くなっております。

胃・大腸ともに、パス中止までの平均日数は、早期パスが長く、進行期がんパスはその約半分の日数となっている。

中止理由をより詳細に分けたもので、胃がんは【資料1-7】大腸がんは【1-8】になります。

胃がん早期パスについては、“患者・家族の都合”と“通院困難”が約1/3を占めており、この原因として考えられるのは、早期がんの場合、数年間、術後フォローで問題なく過ごされるとパススケジュールに則った受診をされなくなる患者さんが一定数存在すると思われます。また、患者さん・ご家族の高齢化に伴い通院が困難となる場合も見受けられます。

また、進行期パスは、「再発・転移」がもっとも多くを占めている。

次に大腸がんパスですが、胃がんパス同様に早期パスは“、患者・家族の都合”と“通院困難”が約1/3を占めている。進行期パスは「再発・転移」が半数をしめております。

以上が滋賀県がん地域連携パスの昨年度実績報告になります。

(大津赤十字病院・辻)

パスの登録件数は胃・大腸・乳腺・前立腺が多く登録させれている。

年度別では少し増加し192件となった。

疾患別では、大腸（早期）が減少したが、大腸（進行期）・乳腺・前立腺が増加した。

施設別では、長浜赤十字病院が年度合計・各年度でも非常に多い。

登録件数等について、ご質問等がございますか。

2023年度増加に転じた理由等がありますか。パスを改訂した等は影響ありますか。

(事務局)

乳がんパスと前立腺がんパスは、昨年度改訂し今年4月から適用になっております。

(大津赤十字病院・辻)

その他、ご意見ございますか。

次にバリエーションですが、例年の傾向と同じく胃の早期は中止率少なく、進行期の多くなっております。早期の場合は家族理由が多く、進行期は本疾患で致し方ないと思う。ただ、家族理由は対応出来ればと思う。

その他、ご意見等はございますか。

(全体)

特段質問なし。

3) 地域連携部会 今年度活動について

・アクションプランシートについて 【資料2】

今年1月に開催しました当部会でご提示しておりますが、今年度のPDCAチェックリストとアクションプランになります。

PDCAチェックリストは、Planを連携パス件数でDoを地域連携パスの活用としております。

アクションプラン目標として、がんパスの登録件数を年間目標と同じ200件としおります。

地域連携パスの見直しとして、前立腺がん・緩和ケアを予定しております。

(大津赤十字病院・辻)

ご質問等がございますか。

今年の目標は200件で昨年度と同数としております。

今年は5大がんパスの見直しは予定されておりますか。

(事務局)

5大がんパスですが、WGメンバーの診療科に偏在があり、昨年度末にがん診療拠点病院にご協力いただきメンバー追加を行った。7月に予定しているWGにて、

改訂を行うパスの選定等を行っていきたいと考えている。

4) その他

(がん患者団体連絡協議会・菊井)

パスの運用件数がなかなか増加していないと思う。そのような中、社会では医療者の働き方改革と言われ、労働時間の上限が設けられた。その中でパスを運用するに当たり、医師や医療従事者の方がどれくらいの時間が取られているか、疑問を感じました。

今後、件数を増加して行く場合、合理的な時間の使い方を協議してはどうかと思う。

ご検討いただければと思います。よろしくお願いします。

(大津赤十字病院・辻)

ご意見ありがとうございます。

働き方改革で、この事に限らず色々働き方改革を検討しているところではある。

その背景を踏まえて、パスも運用が行ない易い、導入が簡易なものへ改訂が必要だと思う。その中で前立腺がんパスはWGで検討され、使用しやすいものになった印象があります。

今後、パスの効率的に考えることと、時代に即したDX等を利用することも検討出来ればと思います。

(がん患者団体連絡協議会・菊井)

そのような事を検討いただければと患者側からも思います。よろしくお願いします。

(大津赤十字病院・辻)

この事に際しまして、部会員の方からご意見ございますか。

事務局から何かありますか。

(事務局)

地域連携パスを導入していただくことによって、病院の先生方の受診頻度は少なくなります。地域の先生方にはご協力いただく形にはなりますが、年数回の病院受診を年1回にすることにより、外来の患者数を減らすことが出来ると思っております。

各病院の先生方も導入可能な症例がございましたら、ご検討いただければと思います。

(大津赤十字病院・辻)

今後も検討を進めて行きたいと思えます。他にご意見ございますか。

(滋賀県看護協会・黒橋)

現在、パス導入件数が増加していないと伺いました。パスを導入しない事によりさんが不利益を受けておられないかと思えます。その辺りを教えていただきたいです。

(大津赤十字病院・辻)

パスを導入しないことによって不利益を受ける患者さんがおられるかどうかですね。

実際にパスを導入されている先生方でご意見いただけますでしょうか。

(彦根市立病院・崎久保)

当科の取組みとしては複数あります。

まず、がんパスに繋がらないからと言って不利益になることはないと思います。他の病院でも着実ながんに対して定期的にフォローアップする事は間違いなくされていると思います。ただ先程事務局からもありましたが、導入すれば病院への通院回数が減るので、外来で一人一人の方に診療が濃く出来るメリットは病院にはあります。

私は、消化器外科が担当なので、胃・大腸が多いですが連携を繋ぐように当科でも取り組んでおります。他の病院でも同様だと思いますが、紹介の多い開業医さんが固定化しており、そちらの開業医さんはその後の対応も慣れておられ連携がしやすいところである。逆に紹介が少ない開業医さんは、その辺りも模索しながら行っている。

ただ、パス自体はしっかりと出来ており、胃がん・大腸がんはケモありでも抗がん剤に関しては病院で行うものになっていますので、開業医さんの負担にはならないパスになっているので導入のハードルは下がっていると思う。がんが専門でない開業医さんの方が圧倒的に多いので、そこに配慮したパスになっていると受けて頂いている開業医さんの反応として感じている。

(大津赤十字病院・辻)

ありがとうございました。

パスは便利なツールではありますが、導入されないからと言って不利益になることはないです。

他に何かございますか。

ご意見がないようですので、これで終了させていただきます。

以上のとおり報告します。

令和6年6月21日

滋賀県がん診療連携協議会 会長 様

地域連携部会 部会長 辻